



広 報

いせ

2007

1 月号
(新春号)
No.15

新春座談会……………	2
「みんなのまちの計画」を一緒に作りませんか?…	6
合併記念式典と各種表彰……………	11
市・県民税の申告と所得税の確定申告 …	12
保健センターだより……………	20
募集・催し物・お知らせ……………	22
まちの話題……………	28



消防出初め式

消防出初め式は、1年の無事を願うとともに、防火・防災の決意を新たにする新春の恒例行事です。
今年は、1月8日(祝)に開催されます。(関連記事：22 ページ)

新春座談会



昨年11月、伊勢市は合併1周年を迎え、大きな目標に向かって確実な一歩を踏み出しました。今年の新春特集は、伊勢・二見・小俣・御園の各地区地域審議会から4人の委員をお招きし、それぞれの立場から今後のまちづくりについてお話を伺いました。（本文中敬称略）

市長

皆さんあけましておめでとございます。

昨年は、ご遷宮に向けての第一年次お木曳行事が始まり、市民の皆さんが共に伝統文化に参加し、伊勢のまちが活気づいた1年でした。

こつした中、県や民間企業などから、観光誘客の後押しをしようという流れもあり、伊勢のまちは追い風を受けて、ご遷宮に向けて市民の皆さんのエネルギーの高まりを実感することができました。

今日は、仕事・生活・ご自身の活動などを通じ、それぞれの立場で感じておられることをお伺いし、今後の行政に生かしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。



合併後1年を振り返って

市長

まず、合併後1年を振り返ってみて、率直な感想などを伺いたいと思います。

村田

新市となって、まち全体として伊勢市を盛り上げていくという気持ちはあり

濱口

もともと伊勢に住んでいて、昭和51年頃から御園に住んでいます。合併して名前が村から市に変わったというだけで、生活の中ではあまり変わったと感じていません。御園は伊勢のへそだと思っています。

ますので、合併の擦り合わせで調整していただいたこと、例えば下水道料金などは以前に比べて上がることは分かっていますが、市民に理解してもらえよう十分に周知していただくようお願いしたいと思います。



森下隆生市長



前田

あつという間の1年で、いろいろなことがあり過ぎて、駆け足のように過ぎた1年というのが率直な感想です。

市民にとっても危機感があつたから、いろいろな人たちの協力をいただくことができ、この1周年を迎えることができたと思います。

奥野

個人の生活圏としては、変わりはありません。ただ、町役場の時代は、住民に何かにつけ行政頼みの体質があり、行政もそれに柔軟に対応してくれました。それだけ官民の関係が密接でしたが、裏を返せば、それは

住民の甘えです。今後は、こうした住民側の体質の改善が急務だと感じています。

地域の特性に合ったまちづくり

市長

これから、地域の特性に合ったまちづくりが求められています。まちづくりを進める上で地域が抱えている問題点や、こんなまちになつて欲しいということがあればお伺いしたいと思います。

村田

マニフエストの中で、小俣総合支所に教育委員会を移転することになっていますが、これはとても良い案だと思えます。本庁舎はとも狭いので、既存の施設を有効に使って、教育の拠点としていくということが良いと思えます。

農業の方では、小俣にはサンファームがありますので、メロンやイチゴなど地産地消を進めてほしいですね。

濱口

御園町には山田奉行所記念館がありますが、山田奉行所は歴史上に残るものではない町や二見・小俣にある観光施設などを整備して、伊勢へ来たら1日遊べるというような方向に持つてほしいです。

また、若い人に居ていただくためには、大きな企業に来ていただくような企業誘致も必要だと思えますね。

前田

交通が変わると、まちも変わるということを実感しています。正月にパーク&バスライドが実施されますが、初詣でを終えて急いで車に戻る人が増え、三日のおはらい町の人通り

が少なくなりました。

予想以上で驚きましたが、まちの魅力をもう一度見直してみようと思えます。

交通システムを見直すとともに、まちの変化を予測し、新たなまちづくりプランを考えていきたいです。

奥野

二見では、従来からの注連縄めなわ曳に加え、おひなさまめぐり、七夕・星まつりを始めて、ある程度根付いてきました。住民の協力にはまだ温度差があつて、これをどう底上げしていくかが課題です。

行政には、この意識改革のお手伝いと、民間では限

度のあるイベントの情報発信をお願いしたいですね。

また、市長のマニフエストに「名勝二見浦のグレイドアップ」がありますが、その内容は、私たちが今進めているまちの活性化以上に急進的だと思います。

確かに、現在のテンポではグレイドアップに何年かかるか分からない状態です。どこかで大きな改革が必要かもしれません。今わたしたちが進めているのは、この改革の土台づくりにはなると思いますが、地域住民の意識が市長の方向性にどれだけついていけるか、その意識改革が最重要課題だと思えます。



前田世利子さん
(伊勢地区地域審議会)

宇治今在家町で酒店を営む。ザ・伊勢講や伊勢おはらい町会議などを通じ、伊勢のまちづくり活動に取り組んでいる。





奥野雅則さん
(二見地区地域審議会)

二見町茶屋で旅館業を営む。「おひなさまめぐり in 二見」、「二見七夕・星まつり」など、二見のまちづくり事業に中心的に携わっている。

市民と行政との協働

市長

市民と行政との協働について、いろんなヒントもいただいたのですが、これから行政が市民とどうやって手を握れるか、どういう役割を果たせるかについて、特に感じていらっしゃることはありますか。

前田

人がたくさん集まれば、必ず、ごみ・交通渋滞・騒音などの生活圏の問題が起ってきます。実際、おはらい町でも、このことについて話し合ってきました。今回のお木曳で、ごみなどのように処理されたのか興味があります。

わたしの奉曳団では、中学校の生徒会にお願いしてアルミ缶をリサイクルに回していただき、違う形で中学生の参加が生まれました。

誘客事業を、観光政策課だけでなく、いろいろな部署で利用できないか考えていただけたらと思います。

行政と市民とが協働し、継続して役立つ誘客事業ができるようになると思いますね。

奥野

二見小学校では、「二見の観光客が減ってきたのは、独自の土産物が無いからではないか」という観点から、総合学習の一環として、独自の土産物を作り、おひなさまめぐりのときに、自分たちで実際、土曜日・日曜日に販売するとともに、ちよっとしたガイド役も買って出てくださいました。

小学生の作る物といっても、商品として立派に通用する土産物でしたし、その接客態度には、わたしたちが見習うべき点もありました。

この子どもたちはわたしたちにとって、また二見の観光にとって、掛け替えのない財産です。小学校レベルから自分たちのまちを考える意識を持ったことは、

村田

将来必ず生きてくると思い、行政からも、地域の子どもたちにこうした働きかけがあればありがたいですね。

マニフエストの中にある「自転車のまち」という考え方は面白いと思います。市長のおっしゃっている意味がよく分かります。市役所の方が自転車で通

勤するとか、職員の人たちがやる気になっているんだ、という姿を見せてくれると、市民も協力しようという気になるのではないのでしょうか。



村田恵子さん
(小俣地区地域審議会)

小俣町元町に在住する主婦。子育てが落ち着いたのを機に、小俣町文化協会をはじめ、さまざまな社会活動に活発に参加している。



濱口

財政は厳しいですが、市の財政が破綻はたんするのは絶対にいけません。市民も行政も危機感を持ってほしいと思います。市民でできることは市民でやって、できないところは行政ですということように。

もたちに借金を残さないようにしたいものです。

前田

濱口さんが「次世代に借金を残さない」とおっしゃっていた良かったです。

また、民間でできることは民間に託し、役割分担をしながら財政改革を確実に実行していただきたいと思います。財政の厳しいときなので、行政を見直していただいて、市民も辛抱しますが、やはり行政も辛抱していただくというをお願いいたします。将来、子ども

は、次の伊勢の大きな波の担い手です。しかし今、子どもたちを取り巻く問題がたくさん起こっています。大人が襟を正し、真剣に考えるときが今だと思えます。誘客も大切ですが、毎日、苦しんだり笑ったりしている子どもたちに目を向け、思いを伝えて欲しいと思います。

市長からのメッセージ

市長

ありがとうございます。それぞれの立場から、伊勢のまちのこれからの動きに対して貴重なご示唆をいただきました。

ご遷宮に向けて

伊勢のまちは、第62回式年遷宮に向けてムードが高まってきています。二見や外宮前をてこ入れし、ご遷宮のときに観光の誘客ゾーンにしたいと思っています。

ご遷宮まで約7年と短期間ですが、多彩なまちづくりのノウハウを持った皆さんと、地元の人の熱意がうまく重なれば、できると思っています。

また、車中心の社会から、自家用車ではなく公共交通機関で楽しめるまちにしていきたいと思っています。どこかの拠点に人に集まってもらうよりも、市内各所の観光スポットを、ゆっく



組織の改革、意識改革などやれるところはすくなくも実行しますが、大きな社会システムを変えていくようなことについては、時間をいいただきながらやっていきたいと思っています。

伊勢市は、今から7〜8年が勝負です。

りと回っていただけるような仕掛けをしていきたい。伊勢はそんなまちでありたいと思います。

このほか、大仏山などの拠点を生かし、スポーツ交流誘客を推進していきたいと思っています。

行財政改革

健全経営を大前提に、5年後のプライマリーバランス（基礎的な財政収支）を行政としてきちんと整えるために、行財政改革を確実に実行していきたいと思っています。

自治体が自主財源をどう確保していくか、お金を出さない工夫と入る工夫、観光施策や誘客事業が必要だと思っています。

委員の皆さんには、ぜひ、地域や職域など、さまざまな場面で、市民と行政、市民と市民との間のつなぎ役をお願いしたいと思います。本日は、ありがとうございます。



濱口繁一さん
(御園地区地域審議会)

御園町新開で製菓業を営む。御園商工連絡協議会に設立当時から参加し、現在は副会長を務めている。山田奉行所を再現する取り組みに携わっている。



一緒につくりませんか？



これからのまちづくりを進めていくための計画を策定します。

政策課 (☎②)5510)

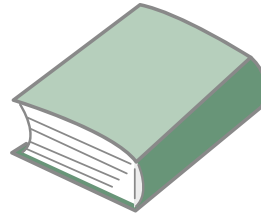
「みんなのまちの計画」とは、まちづくりの最上位計画です。また、市役所と皆さんが目的を共有するための道具です。

「みんなのまちの計画」は、まちづくりの最上位の計画として位置付けられます。この計画をもとに、市役所・市民の皆さん・市民活

動団体・地域・企業が協力し、より良いまちづくりを目指します。「みんなのまちの計画」は、いわば伊勢のまちの目標を示すものであり、行政だけでなく、市民の皆さんや各種団体が、目標とするまちの姿を共有する道具となります。



- 皆さんの意見
- 目標指標の設定
- 内容の補強・整理



まちの最上位計画

新市建設計画

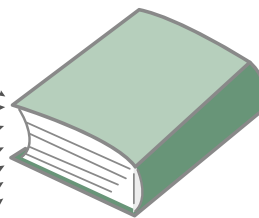
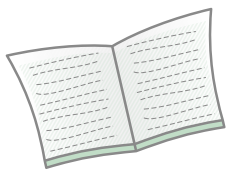
みんなのまちの計画

なお、この計画は、平成20～24年度の計画です。また、この計画は、市町村合併時に市民の皆さんに策定していただいた「新市建設計画」を土台とし、その内容を尊重しながら、目標指標の設定や内容の補強・整理を行い策定します。

「みんなのまちの計画」はどいつやっつけてくれるの？ 「まちづくり市民会議(仮称)」をつくり、分野ごとに議論し、皆さんの意見を集約してつくりま

「みんなのまちの計画」をつくるために、公募した市民の皆さんや各種団体で構成する「まちづくり市民会議(仮称)」をつくりま

計画の範囲は、環境・生活・福祉・産業などさまざまな分野に及ぶため、新市建設計画の中で区分されている7つの分野別に分科会をつくり、議論し



新市建設計画

みんなのまちの計画

まちづくり市民会議(仮称)

〈7分野の分科会〉

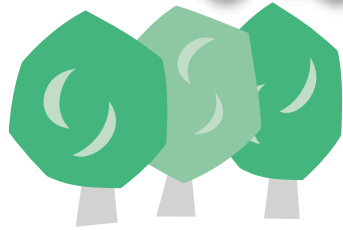
7つの分野

- ①自治と行政のしくみ
- ②人権・教育・文化
- ③環境
- ④生活・健康・福祉
- ⑤防災・防犯
- ⑥産業
- ⑦交流都市基盤

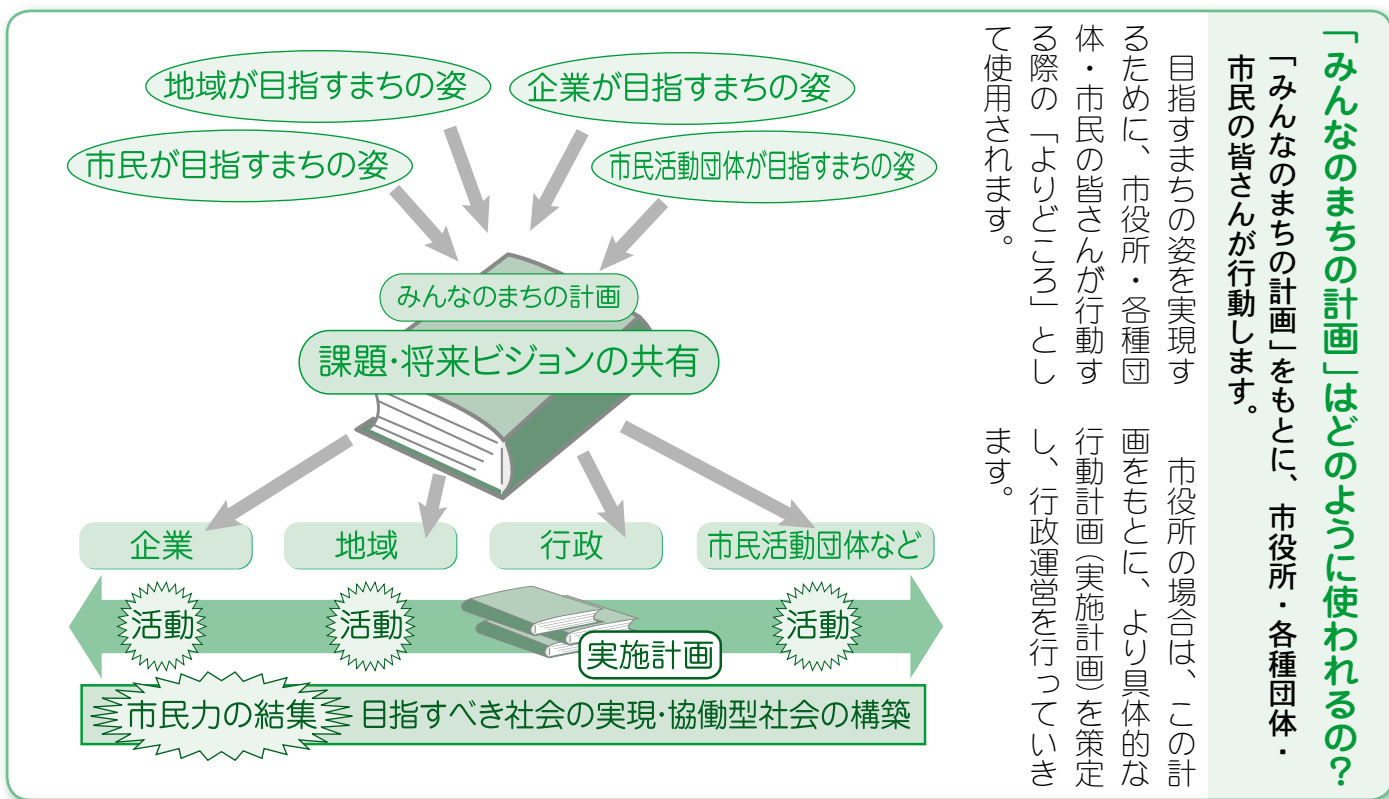
なお策定は、平成19年度中を予定しています。

そして、それらの意見を集約し、「みんなのまちの計画」を策定します。

「みんなのまちの計画」を



市では、市民の皆さんやさまざまな団体と一緒に、



「みんなのまちの計画」はどのように使われるの？
 「みんなのまちの計画」をもとに、市役所・各種団体の皆さんが行動する際の「よりどころ」として使用されます。

目指すまちの姿を実現するために、市役所・各種団体・市民の皆さんが行動する際の「よりどころ」として使用されます。

市役所の場合は、この計画をもとに、より具体的な行動計画(実施計画)を策定し、行政運営を行っていきます。

「みんなのまちの計画」はどのように使われるの？
 「みんなのまちの計画」をもとに、市役所・各種団体の皆さんが行動する際の「よりどころ」として使用されます。

「まちづくり市民会議(仮称)」では、

どんなことを議論するの？

これからのまちづくりに対する意見や提案、達成目標や目標値の検討・提案を中心に話し合います。

- ① 自治と行政のしくみ、
 - ② 人権・教育・文化、
 - ③ 環境、
 - ④ 生活・健康・福祉、
 - ⑤ 防災・防犯、
 - ⑥ 産業、
 - ⑦ 交流都市基盤の7つの分野
- で、平成20年から5年間のまちづくりに対する意見や提案、達成目標や目標値を検討します。
- また、目標を達成するために、「市役所は何をすべきか」のみならず、それぞれの主体がどのような活動・行動をすべきかを話し合います。



参加方法は？

各分科会につき5人程度の会員を募集します。

8ページの「伊勢まちづくり市民会議(仮称)公募委員募集要項」を「確認の上、応募用紙を切り取り、必要事項を記入し、「伊勢市まちづくり市民会議(仮称)設立準備会事務局」へ応募してください。

また、不明な点などがある場合は、政策課へ相談してください。

申し込み期限 1月31日(水) (必着)

※まちづくり市民会議(仮称)の設立総会は、2月18日(日)に開催する予定です。



伊勢市まちづくり市民会議（仮称）

公募会員募集要項

「伊勢市まちづくり市民会議（仮称）」は、市民・民間団体・事業者・行政などが、それぞれの知恵を出し合い、協働して伊勢市のまちづくりを進めるために組織する団体で、「みんなのまちの計画」を策定します。

この「伊勢市まちづくり市民会議（仮称）」の公募会員を募集します。

会員の役割・活動内容

まちの計画案の検討

- まちづくりに対する意見・提案
- まちづくりの達成目標（目標値など）の検討・提案
- まちづくりの取り組みにおける、市民・民間団体・事業者・行政などの役割分担の検討・提案

分科会への所属

「伊勢市まちづくり市民会議（仮称）」の分科会（少なくとも1分科会）への所属

会議への出席

月1～2回程度、「伊勢市まちづくり市民会議（仮称）」の分科会への出席

※原則、会議は平日の夜間・土曜日・日曜日のいずれかに開催します。

※「伊勢市まちづくり市民会議（仮称）」の設立総会は、**2月18日(日)**に開催する予定です。

※会議への出席に伴う報酬・交通費の支払いはありません。

分科会

- ①自治と行政のしくみ（市民参画、市民活動、分権型社会、コミュニティ、行財政運営、情報公開、電子自治体など）
- ②人権・教育・文化（人権の尊重、学校教育、生涯学習、男女共同参画社会、国際化、市民文化、スポーツ・レクリエーションなど）
- ③環境（自然環境＜森林・河川・海＞の保護・活用、ごみゼロ社会＜資源循環型＞、衛生環境など）
- ④生活・健康・福祉（住宅、健康づくり、医療、高齢者福祉、障害者福祉、児童・家庭福祉など）
- ⑤防災・防犯（防災、防犯、交通安全など）
- ⑥産業（農林水産業、商工業、観光・リゾート、企業誘致、起業、雇用など）

※このほか、交流都市基盤に関する分科会も設置する予定ですが、この分科会の構成員は、①～⑥の分科会から選出するため、募集は行いません。

募集人数

30人程度（各分科会5人程度×6分科会）

応募資格

「伊勢市まちづくり市民会議（仮称）」の目的や、協働によるまちづくりに賛同する個人・団体で、

●平成18年4月1日現在、市内に在住または通勤・通学している18歳以上の個人

●市内に事務所などがある団体

※なお、公序良俗に反する個人・団体（暴力・暴言などでほかを威圧する人、暴力団関係者など）、またはこれに類する個人・団体は、応募することができません。

応募方法

1月31日(水)〈必着〉までに、所定の申し込み用紙に必要事項を記入し、持参または郵送・ファクス・Eメールで、政策課内・伊勢市まちづくり市民会議（仮称）設立準備会事務局（〒516-8601岩淵1丁目7-29、FAX ②5522、アドレス seisaku@city.ise.mie.jp）へ

※所定の申し込み用紙は、9ページにあります。また、市のホームページ（<http://www.city.ise.mie.jp>）からダウンロードできます。

選考方法

●申し込み多数の場合は、まちづくりに関する意見や個人・団体の年齢別、性別、地域別などのバランスを総合的に考慮し、人員を選定する場合があります

●各分科会の申し込み者数に著しい偏りがある場合は、第2希望などを考慮し、ほかの分科会に変更していただく場合があります

※選考結果は、応募者本人（団体）に通知します。

伊勢市まちづくり市民会議（仮称）公募会員に応募しない人で、まちづくりに対する意見・提案などがある場合は、9ページの所定の申し込み用紙の「応募理由」欄に、「非応募」とご記入のうえ、意見・提案を記入し、政策課へ提出してください。

申し込み期限 1月31日(水)〈必着〉

ご住所 〒 _____

お名前 _____ 性別 男・女 年齢 _____ 歳

TEL _____ FAX _____

メールアドレス (あれば) _____

■応募分科会 (第2希望まで) 第1希望 _____ 第2希望 _____

①自治と行政のしくみ、②人権・教育・文化、③環境

④生活・健康・福祉、⑤防災・防犯、⑥産業

■応募理由 (必須) 200字～500字程度

—あなたがやっているまちづくり活動、または行いたいまちづくり活動について書いてください。

～「みんなのまちの計画」を一緒につくりましょう～

市民力の結集で、活力あふれる伊勢市へ



料金受取人私

伊勢局承認

94

差出有効期間
平成19年2月
28日まで
(切手不要)

5 1 6 - 8 7 9 0

伊勢市岩渕1丁目7-29

伊勢市総合政策推進部
政策課
行
〈伊勢市まちづくり市民会議(仮称)設立準備会事務局〉

5 1 6 8 7 9 0
1 0

のりしろ

のりしろ

のりしろ

伊勢市 合併記念式典と 各種表彰

政策課 (☎②) 5510)
秘書広報課 (☎②) 5504)



小・中学生による「将来の伊勢市」をテーマにした作文コンクールの全応募作品343点を入れたタイムカプセルを埋設する様子(19年後の市制20周年で取り出す予定です)

平成18年11月3日(祝)、生涯学習センターいせトピアで、伊勢市合併記念式典を開催しました。
式典は、神宮奉仕会青年部による「木遣り」で幕が開き、下記のとおり各種表彰を行いました。
式典の最後には、西条祭り伊勢音頭連合会により、伊勢音頭と西条だんじりの披露が行われました。

市町村合併功労者総務大臣表彰(敬称略)

旧伊勢市長 加藤 光徳
旧二見町長 辻 三千宣
旧小俣町長 奥野 英介
旧御園村長 中北 隆敏

伊勢市民功労賞(敬称略、順不同)

- ◆多年固定資産評価審査委員会委員として納税者の権利保護に尽力された
羽根 信幸
- ◆多年国際交流協会会長として国際交流の発展に貢献された
岩本 忠
- ◆多年能楽を通じて伝統文化の普及振興に尽力された
和谷 衡市
- ◆多年民生委員児童委員として社会福祉の増進に寄与された
榎本 弘子
- ◆多年保護司として更生指導と地域社会の安全に寄与された
梶野 優
- ◆多年消防団活動に献身的に尽力された
西村 雅弘 中井 昭宏 出口 一徳
大東 正幸 岩井 政一 梅田 薫
藤原 利一 岡 豊太郎
- ◆公益のために多額の御寄附をされた
村田 久男
- ◆社会福祉のために多額の御寄附をされた
加藤 晴哉
- ◆多年明るい選挙推進協議会委員として明るい選挙実現に貢献された
戸木田 千鶴子
- ◆多年青少年指導員として青少年の非行防止、健全育成に尽力された
西村 實 田畑 克 近藤 一三
世古口 齊 辻 経生
- ◆多年体育指導委員として社会体育の振興に尽力された
小野田 朝男 角谷 保 北村 峯記
奥野 忠
- ◆多年地方自治の振興に寄与された
中村 喜充 山田 千秋 岩尾 良男
北村 喜多雄 藤原 庄三郎 下井 幹夫
畑 守

伊勢市民文化賞(敬称略)

- ◆合唱団の育成を通じて音楽文化の振興に寄与された
向井 正雄

伊勢市民スポーツ賞(敬称略、順不同)

- ◆平成18年度第35回全国身体障害者アーチェリー選手権大会シングルラウンドにおいて優勝された
宮本 幸夫
- ◆平成17年度岡山国民体育大会陸上成年女子走高跳において優勝された
貞廣 千波
- ◆平成17年度全国高等学校総合体育大会・バドミントン選手権大会の学校対抗および個人ダブルスにおいて優勝された
林 純司
- ◆平成18年度兵庫国民体育大会陸上少年男子A 400メートル障害において優勝された
山本 健太
- ◆平成18年度全国中学校体育大会相撲個人の部において優勝された
滝田 真

小・中学生による「将来の伊勢市」をテーマとした作文コンクールの最優秀作品・優秀作品(敬称略)

小学生の部

- ◆最優秀賞(1点)
 - ・世界中から人が集まる観光地に!
岡田 智文(厚生小6年)
- ◆優秀賞(5点)
 - ・「子どももお年よりも安心して」
御辺 健一郎(二見小4年)
 - ・私の暮らす「未来の伊勢市」
小島 沙羅(今一色小6年)
 - ・私のねがい～伊勢市～
酒井 恵里奈(豊浜東小6年)
 - ・み来のいせ市
西口 佳那(御園小3年)
 - ・こんな伊勢市になったらいいな
松本 英美里(北浜小5年)

中学生の部

- ◆最優秀賞(1点)
 - ・夢実現に向けて
高橋 祐加(御園中3年)
- ◆優秀賞(5点)
 - ・未来の伊勢に残したいもの。
東 彩夏(御園中2年)
 - ・笑顔の絶えない伊勢市づくり
大西 里奈(御園中3年)
 - ・こんな伊勢市が見たい
角谷 優(御園中1年)
 - ・みんなでつくる伊勢市
山口 友香(御園中3年)
 - ・「私の願い」
吉田 多貴子(城田中1年)

市・県民税の申告 所得税の確定申告のご案内

市・県民税の申告について
 課税課市民税係 (☎②5534)
 所得税の確定申告について
 伊勢税務署個人課税部門 (☎②83194)

2月16日(金)から、平成18年分の所得にかかる市・県民税や国民健康保険料の申告と、所得税の確定申告が始まります。

確定申告書の書き方説明会
 平成18年中に新たに公的年金等の受給者となった人を対象に、下表のとおり開催します。度会町と玉城町で開催される説明会にも参加できますので、都合の良い日に参加してください。
 なお、説明会で作成した確定申告書は、その場で提出することができます。

※従来からの年金受給者も、確定申告書の作成方法が分からない場合は、説明会に参加することができます。

確定申告書の書き方説明会

とき	ところ
2月1日(木)	玉城町中央公民館
2月6日(火)	生涯学習センターいせトピア・3階研修室1・2
2月7日(水)	
2月8日(木)	
2月9日(金)	生涯学習センターいせトピア・3階研修室1・2
	玉城町中央公民館
2月13日(火)	度会町役場・2階大会議室

※時間は、午前の部：午前10時～正午、午後の部：午後1時30分～3時30分(受け付けは開始30分前から)です。
 ※説明会への途中参加はできませんので、必ず開始時間までに来場してください。
 ※各会場が満席の場合は、いせ市民活動センター北館(シティープラザ)の所得税の確定申告書作成会場を利用してください。

- 医療費控除を受けるサラリーマン
- 住宅ローン減税を受けるサラリーマン
- 年の途中で退職した人



- 持ち物
- 公的年金等の源泉徴収票
 - 国民健康保険料などの支払い金額が分かるもの
 - 国民年金・生命保険料・損害保険料などの控除証明書
 - 筆記用具・計算用具・印章
 - 預金通帳など申告者名義の口座番号が分かるもの
 - ※市・県民税と国民健康保険料の申告についての説明は行いません。

市・県民税と所得税の申告相談

	とき	ところ
市・県民税	2月16日(金)～3月15日(木) (土曜日・日曜日を除く) 午前9時～正午、午後1時～5時 (受け付けは午後4時まで)	いせ市民活動センター北館(シティープラザ) 二見総合支所・3階第1会議室 小俣公民館・1階第1会議室 御園公民館・2階講堂
所得税		いせ市民活動センター北館(シティープラザ)

市・県民税と所得税の申告相談
 左表のとおり開催します。

また、各支所でも巡回相談を行います。詳細は「広報いせ」2月号でお知らせします。

- 2月1日(木)から、いせ市民活動センター北館(シティープラザ)に、所得税の確定申告書作成会場(書き方説明あり)を開設します。所得税の還付申告書の書き方が分からない人は利用してください。
- なお、所得税の還付を受けるための申告書は、2月15日(木)以前でも提出することができます。
- 要介護認定者で、障害者控除を受けることができる認定書を発行された人は、税金の障害者控除を受けることができます。詳細は介護保険課(☎②5560)へ問い合わせてください。
- 65歳以上の人は、「16ページの「伊勢市の税金って？」を参照してください。
- 国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp>)「所得税の確定申告書がパソコンで簡単に作成できる「確定申告書作成コーナー」」がありますので、ぜひ利用してください。

農業所得者・年金受給者の申告相談会

左表のとおり開催します。

対象 農業所得者・年金受給者

申告に必要なもの

- 申告書
- 印章
- 国民健康保険料などの支等
- 国民年金・生命保険料・損害保険料などの控除証明書
- 預金通帳など申告者名義の口座番号が分かるもの
- 農業所得者は、収支内訳書(作成済みのもの)
- 年金受給者は、公的年金等の源泉徴収票(コピー不可)

払い金額が分かるもの

● 国民年金・生命保険料・損害保険料などの控除証明書

● 預金通帳など申告者名義の口座番号が分かるもの

● 農業所得者は、収支内訳書(作成済みのもの)

● 年金受給者は、公的年金等の源泉徴収票(コピー不可)

● 国民健康保険料などの支

農業所得者・年金受給者の申告相談会

とき	ところ	対象地域
2月5日(月)	御園公民館・2階第2研修室	御園町、神社・大湊地区
	城田地区コミュニティセンター	城田地区
2月6日(火)	御園公民館・2階第2研修室	御園町、神社・大湊地区
	北浜地区コミュニティセンター	北浜地区
2月7日(水)	小俣公民館・1階第1会議室	小俣町、豊浜地区
	沼木農村環境改善センター	沼木地区
2月8日(木)	小俣公民館・1階第1会議室	小俣町、豊浜地区
	宮本地区コミュニティセンター	宮本地区
2月9日(金)	小俣公民館・1階第1会議室	小俣町、豊浜地区
	伊勢農業協同組合伊勢支店	四郷地区
2月13日(火)	二見総合支所・3階第1会議室	二見町
	生涯学習センターいせトピア・1階会議室1	浜郷地区

※いずれも時間は、午前9時30分～正午・午後1時～4時です。



水道の防寒対策を

上水道課

(☎②) 5617)

小俣上下水道課

(☎②) 0500)

二見上下水道課

(☎④) 1143)

御園上下水道課

(☎②) 7400)



気温がマイナス3度以下になると、水道管や蛇口が凍結しやすくなります。凍結すると、水が出なくなるだけでなく、水道管が破損し、修理費用がかかります。特に、水道管が露出している場合や、建物の北側や風当たりの強い場所にある場合は注意してください。

水道管などの防寒方法

露出している水道管や蛇口に、市販されている保温材や布などを巻き、その上からビニールテープやガムテープを巻きつけます。

なお、蛇口を少し開けて水を少しずつ出しておくことで凍結しにくくなります。(たまった水は洗濯などに利用してください)

また、メータボックスは、中に布切れなどを入れるか、ふたの上から段ボールなどで覆ってください。

凍ってしまったときは

蛇口を開けて、凍結している場所にタオルなどをかぶせ、ゆっくりとぬるま湯をかけて溶かしてください。慌てて熱湯をかけると、水道管が破裂することがありますのでご注意ください。



水道管が破損したときは

メータボックス内の元栓を閉めて水を止め、伊勢市指定給水装置工事業者へ修繕を依頼してください。

なお、破損した部分に布などを当て、テープなどを強く巻きつければ、水が飛び散らず、修繕までの応急手当てになります。

横輪町に

さと

直売所郷の恵

めくみ

「風輪」が完成

ふうりん

平成18年11月25日(土)、横輪町公民館前に、「四季を通して郷の恵みを直売する「風輪」が開設しました。また、「風輪」の前にある宮山に、横輪桜の植栽や、遊歩道・展望台などが整備されました。

横輪町と矢持町を合わせた「一字郷の里」では、過疎化が進むこの地域の活性化に取り組んでいます。

直売所と周辺施設の整備を進めてきました。春の横輪桜、夏のホタル、秋の紅葉、冬の横輪イモなど、四季を通して豊富な自然の恵みと触れ合うことができる「風輪」へ、ぜひお越しください。

市は、平成16年度から、横輪町において、地域住民と都市住民が集い、交流することができる拠点として、越しくください。



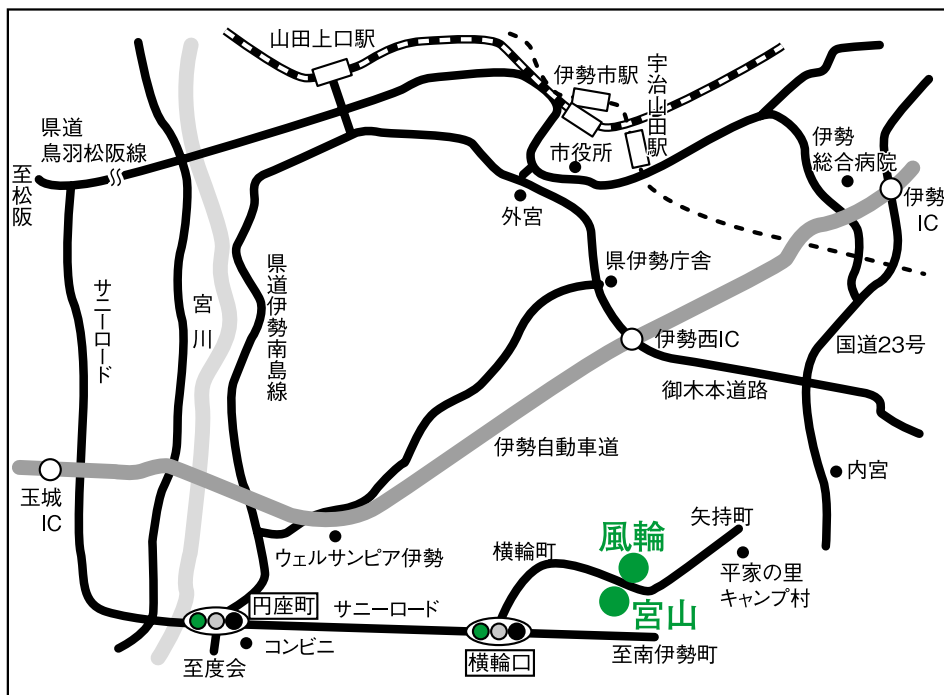
郷の恵「風輪」



開設式典の様子

郷の恵「風輪」と周辺施設の概要

- 所在地 横輪町586番地(横輪町公民館前) ☎☎1741
- 開館日 毎週火曜日・水曜日・土曜日・日曜日・祝日(年末年始を除く)、午前9時～午後5時
- 運営 横輪町活性化委員会
- 風輪：物産直売コーナー・飲食コーナーなど
- 交流広場：遊歩道・ベンチ・横輪桜
- 宮山：展望台・遊歩道・ベンチ・横輪桜



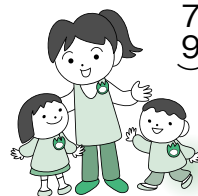
館内の様子



農林課 (☎21)5571)

新保育所・地域子育て支援センターの名称「きらら館」に決定

児童長寿課 (☎21)5579)



平成19年4月、常磐2丁目地内に開設を予定している保育所・地域子育て支援センターの名称は、公募・選考会議の結果、「きらら館」に決定しました。

「きらら」とは、薄くはがれると光を反射してきらきらと輝く鉱石「雲母」の別の読み方です。

その雲母のように、子どもとその親、新たな施設を取り巻く地域の皆さんが、一人一人きらきらと輝きながら未来につながっていくことを願って「きらら館」としました。

今後この施設が、市の子育ての拠点となっていくよう、ご協力をよろしくお願ひします。



伊勢・鳥羽・志摩

第5回

みんなで盛り上げよう！！

伊勢志摩 キャンペーン

観光政策課 (☎②) 5565)

キャンペーン期間 平成18年10月1日(日)~3月31日(土)

キャンペーンに関する問い合わせ先

(社)伊勢志摩観光コンベンション機構内・
伊勢志摩キャンペーン実行委員会事務局 (☎④) 0800)
※キャンペーンの詳細情報は、ホームページ
(<http://www.umashi-kuni.jp/>) でご覧ください。

新しい年を迎え、初詣でや新年会など、外出する機会が多くなります。そこで、寒い中すっきり冷え切った体を暖めてくれる「温泉」はいかがでしょう。「伊勢志摩で温泉？」と疑問に思う人もいるかもしれませんが、実は、伊勢志摩にはさまざまな泉質の温泉が点在しています。海を眺めながら入浴できる露天風呂や展望風呂だけ

でなく、それぞれの地域にさまざまな種類の温泉があり、皆さんの心と体を癒してくれます。また、多彩な温泉をお得に楽しめるクーポンや各施設でさまざまなサービスがあります。宿泊でのんびりくつろぐことも、日帰りで気軽に楽しむこともできるので、家族や友人と、伊勢志摩の温泉に行ってみませんか。

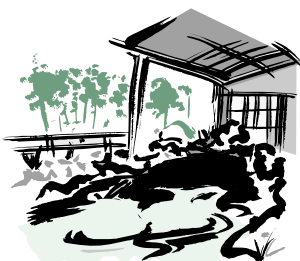
温泉に関する問い合わせ先

(社)伊勢市観光協会 (☎⑧) 3705)、鳥羽市観光協会 (☎⑩) 05999・25・3019)、志摩市観光協会 (☎⑪) 599・46・0570)

※伊勢志摩キャンペーンは、温泉以外にも見どころ満載の、伊勢志摩を紹介したガイドブックを作成し、近鉄主要駅、伊勢市・鳥羽市・志摩市の各観光案内所、観光政策課で無料配布しています。

このガイドブックは、市外の友人や知人に伊勢志摩を紹介するためだけでなく、地元の人にも使えるお得な情報が入っていますので、ぜひ利用してください。

また、情報満載のホームページもぜひご覧ください。



利用しやすい市役所を目指して

「総合案内」を設置

管財契約課 (☎②) 5526)

市役所を訪れる人にとって、分かりやすく、利用しやすく、親しみやすい市役所を目指し、平成18年12月1日(金)から、市役所本館ロビーに総合案内所を設置しました。

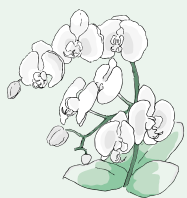
総合案内所では、来庁者への案内はもちろん、必要に応じて、本館ロビーに設置している血圧計・コピー機・パソコンの操作案内などを行います。

今回の総合案内所の設置に伴い、ご用のある課の場所を分かりやすくするため、本館・東庁舎にある各課のカウンターや壁などに、案内番号プレートを設置しました。

また、市民の方が出席する会議や催しについて、当日案内もいたします。皆さん、お気軽にご利用ください。

また、本館エレベーター横・トイレ横に設置してある案内番号も、各課の案内番号が入ったものに変更しました。

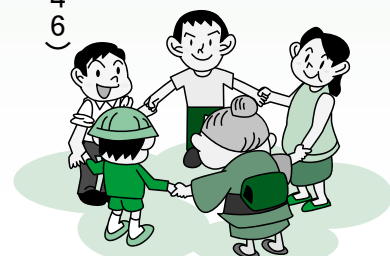
開設時間 市役所開庁日・午前8時30分~午後5時



一人ひとりが

輝くために

人権政策課 (☎215546)



人権尊重啓発ポスター

～秀作・入選作が決定～

市は毎年、人権意識を高め、人権尊重思想を育てるため、市内の小・中学生から人権尊重啓発ポスターを募集しています。

今年度は、738点の応募があり、審査の結果、秀作9点・入選作100点が選ばれました。

今回は、このうち、12月の人権講演会で表彰された秀作9点を紹介します。
(敬称略)



中島小2年 竹内壮真



小俣小1年 瀬木みらの



進修小4年 石谷佳穂



小俣小3年 鈴木沙織



厚生中3年 井村早希



港中2年 三浦琴乃



港中1年 鈴山和美



修道小6年 湊谷南つみ



城田小5年 野口雅智

第10回

伊勢市の税金って?

市・県民税

65歳以上の人の税金の申告はどうしたらいいの? 編

課税課市民税係
(☎215534)



Q・税金の申告をしなければならぬと聞きました。今まで申告をしたことがないのですが。

Q・申告すると税金が戻ってくるのですか。

A・税法改正により、次に該当する場合は、申告をしなければならぬ場合があります。

A・年金受給者は、「公的年金等の源泉徴収票」をご覧ください。

●新たに課税対象になった人や税額が上がった人(所得税の確定申告または市・県民税の申告)

その中の「源泉徴収税額」欄に税額が書いてある人で、各種控除(医療費・社会保険料・生命保険料・損害保険料・扶養・寡婦・寡夫・障害者など)を受けようとする人は、所得税の確定申告をすることにより、税金が還付される場合があります。

●年金以外に所得がある人(所得税の確定申告)

この場合、申告が遅れると、延滞税や加算税がかかることがありますので、申告期限(毎年3月15日)までに申告をしてください。

●年金以外に収入がない人(市・県民税の申告)

なお、市・県民税については、所得税と計算方法が異なりますので、「源泉徴収税額」欄が0円の人は、市・県民税の申告で各種控除を受けてください。

●年金以外に収入がない人(市・県民税の申告)

市・県民税の申告で各種控除を受けてください。

みんなで作ろう きれいなまち・伊勢



資源循環課 (☎21 5543)

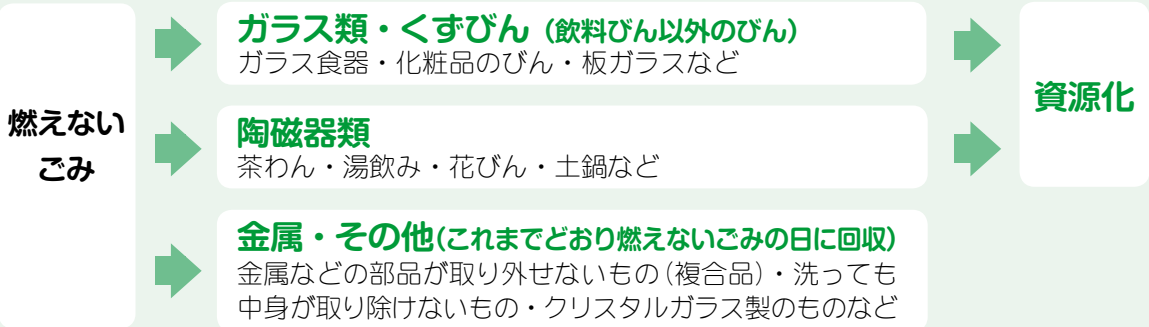
平成19年4月から、「燃えないごみ」を、「ガラス類・くずびん」「陶磁器類」「金属・その他」の3種類に変更し、「ガラス類・くずびん」と「陶磁器類」を資源物として回収します。

ただし、「ガラス類・くずびん」「陶磁器類」であっても、複合品などについては、「金属・その他」として回収します。

また、割れた飲料用びんなどは、「ガラス類・くずびん」として回収します。

皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

燃えないごみの回収方法の変更



ガラス類の例外



金属などの部品が取り外せないもの (ガラス製の鍋ふたなど)



洗っても中身が取り除けないもの (化粧品のびんなど)



クリスタルガラス製のもの (灰皿・置き物など)

「金属・その他」の回収日に
出してください

所得控除 (主なもの)

控除の種類	必要書類など
医療費控除	医師などの領収書など、医療費の明細書
社会保険料控除	国民年金などの支払いをした旨を証する書類
生命保険料控除	領収を証する書類
損害保険料控除	領収を証する書類
障害者控除	障害者手帳など
寡婦(夫)控除	特になし ※配偶者と死別または離婚している者について、一定の要件を満たせば対象となる場合があります。
配偶者控除	配偶者の所得が分かるもの
配偶者特別控除	配偶者の所得が分かるもの
扶養控除	親族の所得が分かるもの

Q. 税金の申告をする場合、何を持参すればよいですか。

A. 年金収入がある人は「公的年金等の源泉徴収票」を、事業をしている人は収入金額・必要経費をそれぞれ計算したものを持参してください。

なお、控除については、左表を参照してください。

Q. 「広報いせ」9月号に、公的年金等にかかる雑所得金額の算出方法が書いてありましたが、どういったことに注意すればよいですか。

A. 65歳以上の人で、公的年金の収入金額が330万円以下の場合、収入金額から公的年金等控除額(120万円)を差し引きます。

また、所得税の確定申告をする場合は、印章と還付金の振り込み先が分かるもの(申告者名義の預金通帳など)を持参してください。



なお、今までは扶養に入ることができた人でも、公的年金等控除額が140万円から120万円に減額されたことにより、所得金額が38万円を超え扶養に入ることができない場合があります。

パルティいせ情報

No.7

☎ 043855

ホームページ <http://skc-e-isenet/>

Eメールアドレス skc@e-isenet

謹賀新年

あけましておめでとございませう。

いせ市民活動センターが、指定管理者制度の導入により民間運営になってから2回目のお正月を迎えます。登録団体の皆さん、サイトプラザを利用していただいている皆さん、いつもありがとうございます。

さて今回は、地域社会のことを考えてみたいと思います。

地方分権が進む中、財政が逼迫し、破綻する自治体が出てきました。明日はわが身です。ここで、地域のネットワークを持ち、行政とともに



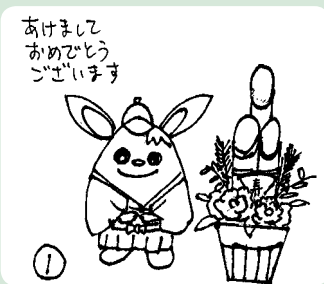
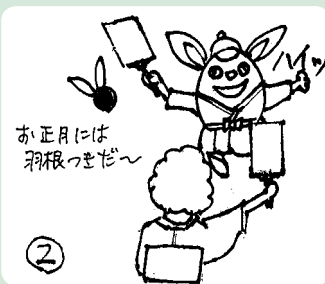
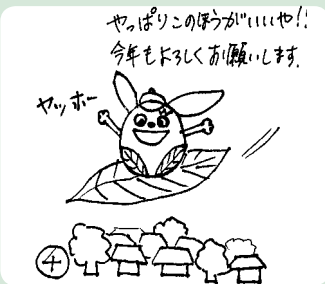
地域社会をつくってきた地域組織（自治会など）と、専門分野にはめっぽう詳しいNPO団体が、互いに協力し合って、自分たちでできることは自分たちで行う必要があると言えます。

さらに、企業の協力的体制があれば、よりよい地域社会をつくることのできるかと考えています。

NPO団体は、効率のよい公益サービスを展開することが出来ます。

自治会・NPO団体・行政・企業など、それぞれにできる役割分担を見直すことから始め、新しい年をみんなで作っていきましょう。

パルティ4コマ劇場



NPO・ボランティア ただいま活躍中!

(第7回)

☎ 022008

わたしたちは、「一生に一度はお伊勢さん」と唄われる郷土の宝「伊勢音頭」を、楽しく唄い踊ることが大好きな市民有志のボランティア団体です。

もともとは、伊勢音頭保存会の「一人でも多くの市民に地元民謡『伊勢音頭』の普及を図る」という目的で、平成7年に結成されました。

これは、平成3年から開講している「伊勢音頭大学」の受講生の有志によるもので、伊勢音頭保存会の普及活動の中から生まれた最初の市民団体といえます。

活動内容は、四季を通しての祭りや行事への積極的な参加、老人施設への定期的な訪問、郷土民謡を学習した小学生との合同演奏などさまざまです。

また、愛知万博やNHK

番組で、伊勢音頭を披露して全国に発信しました。

伊勢はご遷宮を控え、子どもたちが、各町内に伝わるおはやしなどに積極的に取り組んでいます。

このように、わたしたちの日ごろの伊勢音頭への思いが伝わり、誰にでも親しまれ、唄い・踊り・奏でられるように、伊勢音頭の保存・継承を願っています。

皆さんも一緒に楽しみませんか。
練習日 第1・3水曜日、午後7時〜9時

ところ 厚生小学校・体育館
代表 河口和子



図書館だより

伊勢図書館 ☎ 21-0077 FAX21-0078

■利用案内

開館時間 火曜日～金曜日…午前9時～午後7時
土曜日・日曜日・祝日…午前9時～午後5時

(1月)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●…休館日 ■…おはなし会 ▲…午後7時まで開館 ★…ヒデオの日

■おはなし会

とき 毎週土曜日、午後2時30分～
ところ 1階・児童書コーナー



■ビデオの日

とき 1月14日(日)、午後1時30分～
ところ 2階・視聴覚室
内容 「地球が動いた日」(アニメーション: 阪神・淡路大震災の中から、明日を見つめて成長する子どもたちの感動の物語)

■大人向け手作り本の講座

とき 1月18日(木)・25日(木)・2月1日(木)〈計3回〉
午後1時30分～3時30分
ところ 2階・小会議室
内容 簡単な和装本作り
定員 6人(先着順)
申し込み 1月5日(金)から、直接または電話で同館へ

■新刊案内

- <一般書>
- 生き方がみつかる青春の読書案内 読んでおきたい心をゆすぶる日本の名著・名作100冊
 - ジェネリック医薬品がわかる本 薬代を下げるときの活用ガイド
 - リボンレイの本
 - 絵本の中のレシピ
 - 小説の誕生
- <児童書>
- カミさま全員集合!
 - グローバル化とわたしたち 国境を越えるモノ・カネ・ヒト
 - 仕事ってなに? さまざまな仕事観
 - 冬の龍
 - 愛をみつけたうさぎ

小俣図書館 ☎ 29-3900 FAX29-3902

■利用案内

開館時間 午前9時～午後7時

(1月)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●…休館日 ■…おはなし会 ★…上映会

■おはなし会

- 赤ちゃんおはなし会 1月11日(木)、午前11時～
 - たんぼぼおはなし会 1月13日(土)、午後3時～
 - ピッポの会・紙芝居 1月21日(日)、午前10時30分～
 - 図書館おはなし会 1月27日(土)、午後3時～
- ※場所は、1階・おはなしのへやです。

■上映会

とき 1月20日(土)、午後2時～
ところ 2階・視聴覚室
内容 「キタキツネ物語」

■パソコン教室

内容 初心者コース、ワード・エクセルの基礎・応用コース
申し込み 1月5日(金)から、同館カウンターへ
※開催日程については、同館へ問い合わせてください。

■図書館イベント

- 小学生による劇
「いなむらの火～災害は忘れたころにやってくる～」
とき 1月28日(日)、①午後1時30分～・②午後4時～
ところ 2階・ホール

■ギャラリー展示

- あしたば葉画展
とき 1月10日(水)～15日(月)、午前9時～午後7時(初日は午後1時から、最終日は午後3時まで)
- 家庭教育に関する園児の作品展
とき 1月18日(木)～28日(日)、午前9時～午後7時
※いずれも場所は2階です。

■新刊案内

- <一般書>
- イノチのつぶやき こどもとおとなへの4つの質問
 - シニアのためのイタリアンレシピ “産直もの・健康野菜” で元気になる
 - 中高年のためのゴルフのこころと技を教えます
 - お手本なしの人生 『1リットルの涙』亜也の詩
- <児童書>
- ディスレクシアってなあに? (知りたい、聞きたい、伝えたいおともだちの障がい)
 - 浅間山、歴史を飲みこむ 天明の大噴火
 - 小さい“つ”が消えた日
 - はらのなかのはらっぱで

保健センターだより

健康課

小俣保健センター

二見総合支所福祉健康課

御菌総合支所福祉健康課

(☎27) 2435、FAX(21) 0683

(☎22) 7870、FAX(25) 9844

(☎42) 1113、FAX(43) 3754

(☎22) 0235、FAX(26) 2404

申し込み・問い合わせ

平日・午前8時30分～午後5時

(参加費などの記載のないものは無料)

乳がん検診

とき 1月23日(火)、①午前10時～11時・②午後0時30分～1時30分・③午後2時30分～3時30分

ところ ①小俣農村環境改善センター、②小俣北部保健福祉会館、③下小俣公民館(小俣町元町)

対象 市内在住の人

検診内容 マンモグラフィ

(乳房のX線撮影)

定員 ①③40人、②30人(いずれも先着順)

料金 1100円(当日持参、70歳以上は無料)

持ち物 バスタオル

申し込み 1月4日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

※妊娠中または妊娠の可能性がある人は、受診を避けてください。

子宮がん検診

とき 1月23日(火)、①午後0時30分～1時30分・②午後2時30分～3時30分

ところ ①小俣北部保健福祉会館、②下小俣公民館(小俣町元町)

対象 市内在住の人

検診内容 医師による頸部

定員 各50人(先着順)

検診

料金 800円(当日持参)

70歳以上は無料)

申し込み 1月4日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

楽しく動いて健康づくり リフレッシュクラブ

運動は、高脂血症や糖尿病などの生活習慣病を予防するために、欠かせないものです。

リフレッシュクラブで楽しく体を動かしませんか。

とき 1月22日(月)・29日(月)・2月5日(月)・13日(火)・19日(月)(計5回)、午後1時30分～3時

ところ 中央保健センター

対象 市内在住で、今までに参加したことのない人

内容 生活習慣病予防のための運動の理論と方法、ストレッチやウォーキングなどを取り入れた健康づくり体操

定員 50人(先着順)

持ち物 運動ができる服装・運動靴・飲み物

申し込み 1月4日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

電話またはFAXで健康課へ

ママの教室

とき・内容 左表のとおり

ところ 小俣保健センター

対象 市内在住の妊婦

定員 30人程度(先着順)

持ち物 母子健康手帳

申し込み 1月4日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

ママの教室

とき	内容
2月7日(水) 13:30～15:30	●保健師のお話 「これから始まる子育てについて」 ●絵本の読み聞かせ ●座談会
2月16日(金) 13:30～15:30	●栄養士のお話 ●歯科衛生士のお話 ●絵本の読み聞かせ



離乳食教室

とき・ところ・内容・持ち物 左表のとおり

対象 市内在住の乳児(生後6カ月まで)の保護者

定員 各20人(先着順)

申し込み 1月4日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

電話またはFAXで健康課へ

離乳食教室

とき	1月18日(木) 10:30～12:00	2月8日(木) 9:30～12:00
ところ	ハートプラザみその	小俣保健センター
内容	離乳食のお話と試食	離乳食のお話と調理実習
持ち物	なし	エプロン、三角巾、タオル、母子健康手帳、子ども用のミルク

ヘルスマイト料理講習会

とき・ところ 左表のとおり
対象 市内在住の人

テーマ 減塩料理

定員 各30人(先着順)

参加費 300円(当日持参)

持ち物 エプロン、三角巾、米1/2カップ

申し込み 1月4日(木)から

電話またはFAXで健康課へ

ヘルスマイト料理講習会

とき	ところ
1月16日(火)	小俣保健センター
1月20日(土)	福祉健康センター
	二見公民館
1月24日(水)	福祉健康センター
1月26日(金)	ハートプラザみその

※時間は、午前9時30分～午後1時です。

高齢者インフルエンザ予防接種の実施医療機関を追加

◆新規医療機関

心のクリニックいせ(大世古3丁目、☎0806)



休日・夜間応急診療所 (福祉健康センター内)

この診療所では、地域の医師などが連携し、交代で出務することにより、診療体制が確保されています。急病になったとき、また、救急車を呼ぶほどではないけれど、すぐに治療を受けたいときにご利用ください。なお、応急診療所のため、症状などによっては、2次病院などを紹介する場合がありますので、ご了承ください。

また、下表の時間以外に診療を受けたい人や重症の人は、救急医療情報センター(☎1199、24時間受け付け)へ問い合わせてください。

受診するときは

- 保険証と医療受給者証(持っている人)を持参する
- 症状や服用している薬などを分かりやすく伝える

休日・夜間応急診療所

診療日	診療時間	診療科目	当番医師
月曜日～土曜日	夜間 19:30～22:00	内科 小児科	内科医師
日曜日・祝日 1/1～1/3	昼間 10:00～12:00 13:00～17:00	内科 小児科	内科医師 小児科医師
		歯科	歯科医師
	夜間 19:30～22:00	内科 小児科	内科医師 小児科医師

問い合わせ：内科・小児科(☎8795)、歯科(☎0829)

●子どもが受診するときは、予備の下着・タオルなどを持参する



1月の主な相談など

■各会場で行うもの

(問い合わせは、各会場(中央保健センターは健康課、二見老人福祉センターは二見総合支所福祉健康課、ハートプラザみそのは御園総合支所福祉健康課)へ)

内容	とき	ところ	対象
子育て相談	1月9日(火)	9:00～11:00	中央保健センター
		9:30～11:00	二見老人福祉センター
		13:30～15:00	
	1月16日(火)	9:30～11:00	ハートプラザみその
		13:30～15:00	
1月23日(火)	13:00～15:00	中央保健センター	
1月24日(水)	9:30～11:00	小俣保健センター	
成人健康相談	1月4日(木)	13:00～15:00	中央保健センター
	1月9日(火)	13:30～14:30	ハートプラザみその
	1月10日(水)	9:30～11:00	小俣保健センター
	1月18日(木)	13:00～15:00	中央保健センター
成人栄養相談(要予約)	1月4日(木)	13:00～15:00	中央保健センター

■そのほか (問い合わせは、伊勢保健福祉事務所(☎5148)へ)

内容	とき	ところ
HIV検査(エイズ検査)	毎週火曜日(8:45～11:00) 第2火曜日(1月9日、17:30～19:00)	伊勢保健福祉事務所
こころの健康相談(要予約)	第4木曜日(1月25日、13:00～15:00)	県志摩庁舎



募集

伊勢まなび高等学校の生徒を募集

県立伊勢まなび高等学校 (☎⑤3690)

対象 ①推薦入学：平成19年3月に中学校を卒業する人、②特別選抜：20歳以上の入または既に中学校を卒業している人、③一般選抜：①または②の要件を満たす人
申し込み期間 ①②1月25日(木)～30日(火)、③2月22日(木)～26日(月)
試験日 ①2月6日(火)、②2月7日(水)、③3月13日(火)
試験科目 ①②作文・面接(自己表現)、③学力検査・作文・面接(夜間部希望の20歳以上の人は学力検査免除)



催し物

〈参加費などの記載のないものは無料〉

鏡開き

伊勢総合病院 (☎⑤5111)

とき 1月11日(木)、午前10時～
ところ 同病院玄関ロビー
内容 外来患者や付き添いの人に、ぜんざいを提供します

世界の料理パーティー (インド編)の参加者を募集

市民参画交流課内・伊勢市国際交流協会事務局 (☎⑤5549)

とき 1月21日(日)、午前9時50分集合
ところ 福祉健康センター・1階調理実習室
内容 料理の後、食事をしながら懇談し、親睦を深めます
講師 スタカランさん
 ※外国語が話せない人もぜひ参加してください。
定員 20人(先着順)
参加費(材料費) 協会会員800円、非会員1200円(当日持参)
持ち物 エプロン、ふきん3枚、筆記用具
申し込み 1月4日(木)・午前9時～、電話で同事務局へ

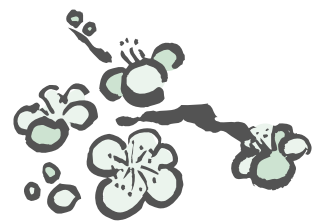


消防出初め式

消防本部総務課 (☎⑤1206)

とき 1月8日(祝)、午前9時30分～11時30分

ところ 県営サンアリーナ(サブアリーナ)とその周辺
内容 式典、分列行進、一斉放水



平家の里ふれあい事業 陶芸体験



観光政策課内・平家の里ふれあい事業推進実行委員会 (☎⑤5566)

とき 2月3日(土)、午前9時30分～11時30分

ところ 農林漁業体験実習館(矢持町)

対象 小学生以上(小・中学生は保護者同伴)

創業座談会

産業支援センター準備室

12月28日(木)まで (☎⑤4397)
 1月4日(木)以降 (☎⑤1160)

気軽な雰囲気の中で、創業について話し合いませんか。

とき 1月24日(水)、午後7時～9時
ところ 伊勢商工会議所・4階第1会議室

対象 創業に興味がある人、創業を考えている人、創業して間もない起業家など

内容 伊勢の若手起業家である三田泰久さん(株)アーリーバードを講師に迎え、創業について気軽に話し合います

定員 10人程度(先着順)



企業合同就職説明会

三重県南部地域雇用促進協議会・雇用対策事業インフォメーションセンター（☎フリーダイヤル0120・41・5441）
商工政策課（☎②5568）

とき 1月20日(土)、午後1時～4時(受け付けは午後3時30分まで)

ところ 志摩市商工会館（志摩市阿児町鶴方3440番地1）

対象 再就職またはU・ターン就職希望者、平成18年度の大学・高等学校・専門学校卒業予定者、既に学校を卒業している未就職者など

内容 各企業ブースを設け、面接を実施します

参加予定企業 35社程度
※事前の申し込みは不要です。

若年者就職支援セミナー

三重県生活部勤労・雇用支援室
（☎津059・222・3309）

とき 1月11日(木)～29日(月)（火曜日・土曜日・日曜日を除く、計11回）、午前9時30分～午後5時の間で開催日により異なります

ところ 観光文化会館
対象 概ね30歳までの求職者（在学中の人を除く）

内容 企業が若年者に求めている就職基礎能力（コミュニケーション能力、職業人意識、ビジネスマナー、基礎学力）を習得します

定員 20人（先着順）
申し込み 電話で、(株)東京リーガルマインド（☎フリーダイヤル0120・919・381）へ

※このセミナーは、県が(株)東京リーガルマインドに委託して行うものです。

若者の就労を考える親向けセミナー
うちの子はなぜ働けないの？

三重県生活部勤労・雇用支援室
（☎津059・224・2461）

とき 2月3日(土)、午後1時30分～4時30分

ところ 労働福祉会館・3階第2会議室（勢田町）

対象 就労へ不安を抱えた若者の親・家族

内容 若者の就労に向けて、親・家族ができる支援について考え、また同じ課題を持つ家族同士の交流を行います

第1部：若者の心の理解、気付きを目的としたワークショップ、信頼実習
第2部：フリートーク、家族はど

う接するか

講師 浦田宗昭さん（NPO法人リベラヒューマンサポート理事）

定員 20人程度（先着順）
申し込み 1月24日(水)・午後5時までに、電話・ファクス・Eメールで同室（FAX059・224・2455、アドレスkinko@pref.mie.jp）へ

※申し込みの際、住所・氏名・連絡先（電話番号・メールなど）

具体的な悩み（参加者に合わせた講演内容にするため）などを伝えてください。

お知らせ



お知らせ

出産育児一時金の受取代理制度

医療保険課（☎②5646）

平成19年1月1日(祝)から、国民健康保険被保険者に支給される出産育児一時金(35万円)を、病院などが被保険者に代わって受け取り、出産費用に充てることのできるようになります。

これは、病院などの窓口で、被保険者が出産費用を支払う負担を軽減するためのものです。

この制度を利用するには、事前に申請が必要です。

詳しくは、同課へ問い合わせてください。



保険料(税)納付済額のお知らせ

国民健康保険料(税)について
医療保険課国民健康保険料係

- ☎②15550
- 二見総合支所生活環境課（☎④1112）
- 小俣総合支所生活環境課（☎②7861）
- 御園総合支所生活環境課（☎②0235）
- 介護保険料について
- 介護保険課介護保険料係（☎②15564）
- 二見総合支所福祉健康課（☎④1113）
- 小俣総合支所福祉健康課（☎②7862）
- 御園総合支所福祉健康課（☎②0235）

平成18年中に支払った国民健康保険料(税)および介護保険料(普通徴収分)の納付済額を、1月中旬に、はがきでお知らせします。

市・県民税申告と所得税確定申告の社会保険料控除の対象になりますのでご利用ください。



4月8日(日)

知事選挙および 県議会議員選挙

選挙管理委員会 (☎②5635)

4月8日(日)、知事選挙および県議会議員選挙が行われます。

統一地方選挙では、住所移転の時期によって投票できない場合がありますので、注意してください。

償却資産の申告を

課税課固定資産税係 (☎②5533)

事業用の償却資産を所有している人は、申告期限の1月31日(水)までに、課税課固定資産税係または各総合支所税務課へ、申告書を提出してください。

平成18年中に、新たに事業を始めた人は、全資産の明細を申告してください。

平成18年に申告をした人は、平成18年中の資産の増減について申告をしていただきますが、増減がない場合も申告書(表紙部分のみ)を提出してください。

伊勢都市計画変更案の縦覧

都市計画課 (☎②5591)

次のとおり、伊勢都市計画の変更案を縦覧します。

縦覧期間 1月5日(金)～19日(金)

縦覧場所

●伊勢都市計画公園の変更案(宮後公園)：同課、伊勢図書館

●伊勢都市計画用途地域の変更案(小俣町新村地区の一部)：同課、小俣総合支所産業建設課、伊勢図書館

●伊勢都市計画ごみ焼却場の変更案(二見町ごみ焼却場)：同課、二見総合支所産業建設課、伊勢図書館

◆案について意見がある人は、縦覧期間内に、意見書を同課へ提出してください。

提出資格 市民または利害関係人

提出方法 持参または郵送で同課
(〒516-8601岩渕1丁目7-29)へ



伊勢市男女共同参画推進 条例(案)・伊勢市国際化推 進指針(案)の閲覧

市民参画交流課 (☎②5513)

伊勢市男女共同参画推進条例(案)

市では、男女がそれぞれ自立し、性別にとらわれず、自分らしく生きる男女共同参画社会の実現を目指し、「伊勢市男女共同参画推進条例」をつくっています。

今回、中間案がまとまりましたのでお知らせします。また、広く市民の皆さんの意見などを募集します。

伊勢市国際化推進指針(案)

市では、今後の国際化に対応したまちづくりを推進するための方向性を示す「伊勢市国際化推進指針」の策定を行っています。

今回、中間案がまとまりましたのでお知らせします。また、広く市民の皆さんの意見などを募集します。

共通項目

閲覧期間 12月22日(金)～1月19日(金)
閲覧場所 同課、各総合支所地域振興課、各支所、市役所本庁舎・

1階市民ホール、伊勢図書館、小俣図書館、生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター
※市のホームページ(<http://www.city.ise.nie.jp>)からもご覧いただけます。

意見などの提出資格 市民または利害関係人

意見などの提出方法 1月19日(金)までに、住所・氏名・電話番号を記入し、持参または郵送・ファックス・Eメールで同課(〒516-8601岩渕1丁目7-29、FAX②5522、アドレス kouryu@city.ise.nie.jp)へ

宝くじ助成で コミュニティの活性化

市民参画交流課 (☎②5549)

(財)自治総合センターから、平成18年度宝くじ普及広報事業の助成を受け、次のとおりコミュニティの活性化を行いました。

今後も、地域のコミュニティの醸成に努めていきます。

大湊町振興会 神輿の購入

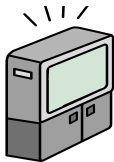


ケーブルテレビ番組案内

伊勢市テレビ広報

「みて・きいて伊勢」

アナログ 10 チャンネル



■特集(1月)

- 市長新春インタビュー
- 「みんなのまちの計画」を一緒に作りませんか?



■お知らせ

1 / 1~7

- リフレッシュクラブの参加者募集

1 / 8~14

- このごみ、何ごみ?

1 / 15~21

- インフルエンザの予防

1 / 22~28

- おひなさまめぐり

1 / 29~2 / 4

- おひなさまめぐり



■市民活動ニュース「おこないパルティ」

※アナログ 10 チャンネルでは、午前6時・9時、正午、午後3時・6時・9時から放送を行っています。

アナログ 21 チャンネル

御園地区のみの放送で、アナログ 10 チャンネルと同じ「特集」「お知らせ」などの行政情報・お天気情報・防災情報をお伝えします。

コミュニティチャンネル

アナログ 8 チャンネル・デジタル 701 チャンネル

- ニュース ※毎日午後7時更新

- レポート(企画番組) ※毎週日曜日午後7時以降更新

- ミニコーナー(情報番組) ※随時更新

※アナログ 8 チャンネル・デジタル 701 チャンネルでは、午前6時~翌日午前2時の毎時0分から、繰り返し放送を行っています。

また日曜日は、その週に放送されたニュース・レポートをまとめて放送します。

※放送時間や内容が変更することがあります。ご了承ください。

秘書広報課(☎⑤515)

1月10日(水)
110番の日

伊勢警察署(☎②0110)

110番は、緊急通報用の電話です。

困り事や悩み事は、「☎津059・

224・9110」または「#9

110」(プッシュ回線と携帯電話

話のみ使用可能)へ電話してくだ

さい。

なお、110番通報は、ホームペー

ジ(<http://mie110.jp>、携帯電話か

らも可能)、ファクス(津059・

229・0110)からでもできます。

■勢田川水質調査結果

(11月25日 西日本技術コンサルタント 分析)

	測定地点	勢田川			
		姫之橋	北新橋	勢田大橋	一色大橋
BOD (mg/l)	H18年 11月結果	1.6	2.1	2.7	1.5
	H17年 11月結果	1.6	2.8	2.3	1.9
	H17年度 平均	3.5	7.5	3.8	2.0
環境基準		5mg/l以下(勢田大橋)			

■家庭でできる生活排水対策

汚れた食器



汚れた食器は、洗う前に、ぼろ布・ゴムべらなどで汚れをふき取ってから洗いましょう。また、洗剤は使い過ぎないようにしましょう。

環境政策課(☎⑤5542)

種別	相談日など
消費生活	と き 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 三重県栄町庁舎 (消費生活相談窓口) (☎津 059-228-2212) 商工政策課 (☎21-5512)
婦 人	と き 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 福祉総務課 (☎21-5556)
母 子	と き 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 ところ 児童長寿課 (☎21-5561)
家庭児童	と き 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時 ところ 児童長寿課 (☎21-5561)
乳 幼 児	と き 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 大世古保育所 (☎25-3676)
家庭教育	と き 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 ところ 家庭教育相談室「スマイルいせ」 (生涯学習センターいせトピア内) (☎21-0910)
教 育 <small>(小・中学生の不登校・いじめ・友人関係・学習など)</small>	と き 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 ところ 教育研究所 (八日市場町17-30・戦災復興会館内) (☎22-0285、22-0347)
カウンセラーによる カウンセリング <small>(小・中学生の教育) (要予約)</small>	と き 毎週水曜日・木曜日 午後1時～5時 ところ 教育研究所 (八日市場町17-30・戦災復興会館内) (☎22-0285、22-0347)
青 少 年 <small>(非行・いじめなど)</small>	と き 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 青少年相談センター (厚生中学校内) (☎28-6344)
就 職	と き 毎週火曜日 午前10時～午後4時 ところ サンライフ伊勢 対 象 市内に在住または通勤している 35歳以下の人、またはその保護者、学校の進路担当教諭 定 員 1日につき5人まで(先着順) 申し込み おしごと広場みえ (☎津 059-222-3309) または、商工政策課 (☎21-5568) へ電話

種別	相談日など
中高年齢者 職 業	と き 火曜日・日曜日・祝日を除く毎日 午前9時～午後5時 ところ 中高年齢者職業相談室 (サンライフ伊勢内) (☎28-1267)
老 人 在宅介護	と き 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時 ところ 地域包括支援センター (福祉健康センター内) (☎27-2431)
	と き 毎日24時間対応 ところ 各在宅介護支援センター 神路園 (☎22-6012) 双寿園 (☎23-9231) 白百合園 (☎27-1511) 山咲苑 (☎26-2600) 正邦苑 (☎38-1800) みなと (☎35-0811) 楽寿苑 (☎31-0050) 二見ふれあいプラザ (☎43-4423) 小俣 (☎27-1155) 相談方法 電話・来所
心配ごと	と き 1月5日(金) 午後1時～3時 ところ 小俣公民館 問い合わせ 社会福祉協議会小俣支所 (☎27-0509)
	と き 第2水曜日(1月10日) 午後1時～3時 ところ 社会福祉協議会伊勢支所 (福祉健康センター内) (☎27-2425)
	と き 第3水曜日(1月17日) 午後1時～3時 ところ ハートプラザみその 問い合わせ 社会福祉協議会御園支所 (☎22-6617)
	と き 第4水曜日(1月24日) 午後1時～3時 ところ 社会福祉協議会二見支所 (二見ふれあいプラザ内) (☎43-3994)

1月の無料相談

※日の指定のない相談の年始の相談日については、各問い合わせ先に問い合わせてください。

種別	相談日など
法律 <small>担当弁護士が既に相手方の相談を受けている場合は、相談を受けられません</small>	<p>とき 毎週月曜日 午後1時30分～3時30分 ※1月8日は祝日のため、9日(火)に行います。</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p> <p>対象 市内に住所を有する人</p> <p>定員 1日につき8人まで (定員を超えた場合は抽選)</p> <p>申し込み 相談日当日の午後1時15分までに秘書広報課へ来所</p>
	<p>とき 1月11日(木) 午後1時30分～3時30分</p> <p>ところ 小俣公民館</p> <p>対象 市内に住所を有する人</p> <p>定員 4人(先着順)</p> <p>申し込み 相談日の2週間前(12月28日)から社会福祉協議会小俣支所(☎27-0509)へ来所または電話</p>
	<p>とき 1月18日(木) 午後1時30分～3時30分</p> <p>ところ 社会福祉協議会御園支所 (☎22-6617)</p> <p>対象 市内に住所を有する人</p> <p>定員 4人(定員を超えた場合は抽選)</p> <p>申し込み 相談日当日の午後1時15分までに社会福祉協議会御園支所へ来所</p>
交通事故	<p>とき 第2・3水曜日(1月10日・17日) 午前10時～午後3時</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p> <p>定員 1日につき4人まで(先着順)</p> <p>申し込み 相談日当日の午前8時30分から秘書広報課へ電話</p>
	<p>とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 (受け付けは午後3時30分まで)</p> <p>ところ 三重県栄町庁舎 (交通事故相談窓口) (☎津059-228-7350)</p>
多重債務 (クレジット) (消費者金融)	<p>とき 第3木曜日(1月18日) 午前9時30分～11時30分</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p> <p>定員 4人(先着順)</p> <p>申し込み 相談日当日の午前8時30分から秘書広報課へ電話</p>

種別	相談日など
行政	<p>とき 第2・4火曜日 (1月9日・23日) 午後1時～4時 (受け付けは午後3時まで)</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p>
市政	<p>【市政相談・行政相談】</p> <p>とき 第3火曜日(1月16日) 午前10時～午後3時</p> <p>ところ 二見生涯学習センター 問い合わせ 二見総合支所地域振興課 (☎42-1111)</p>
	<p>【市政相談・行政相談】</p> <p>とき 1月5日(金) 午後1時～3時</p> <p>ところ 小俣公民館 問い合わせ 小俣総合支所地域振興課 (☎22-7858)</p>
	<p>【市政相談】</p> <p>とき 1月15日(月) 午後1時～3時</p> <p>ところ 御園公民館 問い合わせ 御園総合支所地域振興課 (☎22-0235)</p>
登記	<p>とき 第2火曜日(1月9日) 午後1時～4時 (受け付けは午後3時まで)</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p>
人権	<p>とき 第2木曜日(1月11日) 午後1時～4時 (受け付けは午後3時まで)</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p>
	<p>とき 毎週火曜日・水曜日・金曜日 午前9時30分～午後4時30分</p> <p>ところ 津地方法務局伊勢支局 (☎28-6158)</p>
公証 (遺言) (契約証明)	<p>とき 1月11日(木) 午後1時～4時 (受け付けは午後2時まで)</p> <p>ところ 秘書広報課広報広聴係 (☎21-5515)</p>

イモ掘り遠足

11月7日、小俣地域子育て支援センターでは、小俣町明野地内の畑を農家の人から借り、6月から育ててきたサツマイモを収穫しました。

参加した親子は約80人で、子どもたちはなかなか見えてこないサツマイモに、「まだかな～」と待ち切れない様子でしたが、掘れたときは大喜びでした。

後日、お母さんたちが調理実習を行い、収穫したサツマイモを使って、ご飯やまんじゅうなどを作り、子どもたちと一緒に自分たちで掘ったサツマイモを、おいしく味わいました。



お伊勢さん健康マラソン大会

12月3日、内宮～外宮間の御幸道路で、お伊勢さん健康マラソン大会が開催されました。

25回目を迎えた今回は、ゲストランナーとして増田明美さんをお招きしました。

「お木曳でにぎわう伊勢路を増田明美さんと走ろう」と、北は北海道から南は佐賀県まで、全国から集まったランナーは2,029人。

参加者は、それぞれ自分のペースで、初冬の伊勢路を走りました。



人の動き (11月末現在)

総人口	136,756人(-48人)	男性	64,960人(-15人)
世帯数	52,614世帯(-6世帯)	女性	71,796人(-33人)

※外国人登録者を含む

■発行／伊勢市 ■編集／総合政策推進部秘書広報課

〒516-8601 伊勢市岩渕1丁目7番29号

(広報広聴係) ☎0596-21-5515 FAX0596-22-9699

URL <http://www.city.ise.mie.jp> Eメール ise-koho@city.ise.mie.jp

広報いせ 第15号 平成19年1月1日発行 印刷 千巻印刷産業株式会社

まちの話題



イモ煮会

11月18日、宮川ラブリバー公園(御園町)で、御園町・二見町子どもセンター協議会「ふたみそちゃん」が、御園町高向で採れたサトイモを使って、イモ煮を作りました。

この日は、小学生や保護者ら約30人が参加し、昔ながらの「イモこじ」と言われる手法でサトイモの皮をむき、大釜を使ってイモ煮を作りました。

参加者は、「イモこじ」は初めての経験で、最初は戸惑っていましたが、コツをつかむにつれスムーズに皮をむき、自分たちで作ったイモ煮をおいしく食べました。



夫婦岩の月の出

12月5日・6日、多くの写真愛好家が二見興玉神社を訪れ、夫婦岩の間から昇る満月を撮影しました。

夏至の頃に夫婦岩の間から朝日が昇るのは有名ですが、10月～2月の満月のころのすっきりと晴れた日には、夫婦岩の間からきれいな満月が昇り、朝日とはひと味違った幽玄な雰囲気が漂います。

12月5日は、午後から少し雲が出たため、午後5時ごろに雲の切れ間を狙っての撮影となりました。今後は、1月3日～6日と2月2日～3日が見ごろとなります。



広報

いせ